学校番号	3017

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	１単位	年次	２年次（後期）
校内名称	倫理（文系）・倫理政経（理系）			ユニット数	1.5	必選別	選
使用教科書	高等学校　改訂版　倫理　（第一学習社）						
副教材等	最新倫理資料集　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

まず、考えること。考えることに人間の本質がある、といわれる。ただ単に考えるのではなく、何が問題であり、その問いを解決するためにはどうしなければならないか、先行する思想家はどのように考えたのか、様々な問いを論理的整合性を持って解決しようと心がけてください。
暗記科目と考えて記憶に精を出すのではなく、様々な問いに疑問を持つようにしてください。自ら考えようとする姿勢が、後になると理解につながります。
授業で板書を写し、評価をもらうことが勉強の目的ではありません。何が重要なのかを見いだし、自分が「理解するために」ノートを作り、自分だけの参考書を作ることが勉強であり、それが結果としてセンター試験でも生きてきます。
たくさん本を読みましょう。新聞も読みましょう。いろんな方法で「感性」を磨いてください。

2　学習の到達目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、人間としてのあり方・生き方についての理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある人間として必要な能力と態度とを育む。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心･意欲･態度	b:思考･判断･表現	c:資料活用の技能	d:知識･理解
観点の趣旨	人間尊重の精神と生命に対す畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成について関心を高め、人格の形成と他者と共に生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲を持つとともに、これらに関わる先哲の思想を探究し、人間としてのあり方、生き方について自覚を深めようとする。	他者と共に生きる主体としての自己の確立について広く課題を見いだし、時代背景や先哲の思想を参考にしながら、多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	先哲の著作や、様々な諸資料を読み、有用な情報を適切に選択して、これらを他者と共に生きる主体としての自己の確立に資するよう活用している。	青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などに関わる先哲の思想などを、他者と共に生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格形成に生かす知識として身につけている。
評価方法	ワークシート （ノート･プリントの内容を含む(以下同)） レポート 授業の参加態度	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
評価点の割合は、考査点９０％程度、平常点１０％程度です。

4　学習の活動

期間	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
後期中間考査まで	人間としての自覚	ギリシャの思想 キリスト教・イスラーム・仏教 中国の思想	○			○	a. 「哲学的な思考法」や「宗教的な思考法」に関心を持ち、「善さ」や「正しさ」とは何かについて探究しようとしている。 d. 仁や礼などから人間についての見方や望ましい人間関係による社会生活のあり方などを理解し、人格の形成に生かす知識として身につけている。	ワークシート 定期考査
後期期末考査まで	国際社会に生きる日本人としての自覚	日本の風土と伝統 外来思想の受容	○	○	○	○	a. 日本の伝統的な価値観について関心を持ち、それらを手がかりに日本の思想の展開について探究しようとしている。 b. 仏教思想間、朱子学と古学など、様々な思想を、時代背景も踏まえて比較しながら考察している。 c. 先人の思想に関わる資料から、その思想の特徴を読み取っている。 d. 仏教や儒学、とりわけ朱子学がどのように日本人の意識や価値観に影響を与えたかを理解し、次の「庶民の思想」を理解するためにも用いている。	ワークシート 定期考査
		町人意識の目覚めと庶民思想	○	○		○	a. 江戸時代や明治時代という時代を踏まえ、思想の多様性に関心を持ってそれらの思想を探究しようとしている。 b. 町人の思想や国学が提唱する人間性を尊重する生き方について、儒学などとの関わりも踏まえて多面的に考察している。 d. 石田梅岩の心学が企業の社会的責任に通じる思想であることなど、取り上げる思想はいずれも現代の社会に通じる思想であることを理解し、自分の生き方に関わる知識として身についている。	ワークシート 定期考査 レポート
＊「西洋思想との出会い」「現代に生きる人間の倫理」「現代の諸課題と倫理」の単元は３年次に学習します。								

※　表中の観点について　　a ：関心・意欲・態度　　b ：思考・判断・表現
c ：資料活用の技能　　d ：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。